

07. 度会カフェリョクプロジェクト

度会茶で町を元気に！

この活動では度会茶の魅力を発信し、地元を活性化させるために「宇治山田の和紅茶」の販売や水出し茶のできるボトルの開発や皇學館高校とコラボしてお茶の木を育てたりなどしています。今年度からお茶とボトルの販売をさせていただき、購入された多くの方から好評をいただきました。お茶の木を植える準備もおこなっています。地元企業との話し合いもあるのでコミュニケーション能力も身につきます。

メンバー数：8名
活動場所：度会町
実施主体：度会町役場
担当教員：藤井 恭子（現代日本社会学部）
活動年度：H28, H29, H30, R01, R02, R03, R04, R05, R06



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度は、これまでの「宇治山田の和紅茶」の販売活動に加えて、昨年度より開始された「お茶BOTTLEプロジェクト」でも販売を開始しました。

「宇治山田の和紅茶」の販売では、河崎商人館を拠点とし、様々なイベントへの出店を行いました。今年度では、声出し以外に、のぼりを立ててみることで視覚的に販売をしていることを強調しました。のぼりに興味を持って、購入してくださったお客様も多く見られたため、今後さらなる販促工夫をしていこうと思いました。

また、今年度では皇學館高校生との共同による「お茶の木プロジェクト」も開始しました。今年の3月には高校で植える予定で、次年度は大学でも育てる予定です。

「お茶BOTTLEプロジェクト」では、昨年度にボトルのデザインや販売するお茶の種類などは決定していたので、今年度は販売とその準備が主な活動となりました。販売の企画をメンバーで考える際に、なかなか意見がまとまらなかったり、販売の準備がギリギリになってしまったりと苦しい時期もありましたが、4日間の販売で約80本購入してもらい多くの好評をいただきました。

今後の課題としては、メンバーがお茶についての知識がほとんどなく、販売の際に上手く売ることができなかったり、お茶を試飲された方からの質問に対してその方が納得されるような回答ができなかったことです。来年度以降は、もう少しお茶の知識を蓄え多くの方にこの商品を購入してもらい、地元の美味しいお茶を提供できるようにしていきたいです。

活動を通して学んだこと

この活動を通して学べたことは、コミュニケーション能力とプレゼンテーション力を学ぶことが出来ました。企業様との打ち合わせや、商品を一人でも多くの方に購入してもらうためにも、自分たちから声をかけに行き、自分たちの商品を短い時間で分かりやすく説明する機会が多くあったのでその能力を学ぶことができました。また、販売する際には、毎回試飲のお茶も提供していたので美味しいお茶の淹れ方も学ぶことができました。

実施主体からのコメント

度会町みらい安心課
ご担当者様

今年度の「お茶Bottleプロジェクト」は、現場での実践が多く、ボトルの販売、お茶の苗木植樹、企業とのコラボ等と多方面で活動しました。

皆さんの先輩にあたる、昨年度のメンバーが試行錯誤し、ボトルのデザインや製品の販路の確保などの打ち合わせをする光景が、今でも鮮明に思い浮かびます。

これ以外に「宇治山田の和紅茶販売プロジェクト」や「お茶の木プロジェクト」など、このプロジェクトは盛りあがっています。メンバーのみなさんの成長を感じることももちろん、先輩が築き上げたものを繋いでいくことの大切さを、私も実感することが出来た1年でした。

皆さんの今後の活躍を楽しみにしています。

担当教員より

現代日本社会学部 藤井 恭子

今年度の「お茶Bottleプロジェクト」は、現場での実践が多かったと思います。

ボトルの販売、お茶の苗木植樹、企業とのコラボ等と多方面で活躍されているのを、拝見いたしました。

皆様の先輩にあたる、昨年度のメンバーが試行錯誤し、ボトルのデザインや製品の販路の確保などの打ち合わせをする光景が、今でも鮮明に思い浮かびます。

2年間の関わりの中で、皆様の成長を感じることももちろん、先輩が築き上げたものを繋いでいくことの大切さを、私も実感することが出来た1年でした。1年間お疲れ様でした。今後のご活躍を強く期待します。

成果物 / 制作物

こんな人におすすめ！

- ・地元で就職したい方
- ・お茶が好きな方
- ・商品開発力を身につけたい方



伊勢だいでこ市



月別活動

- 4月 1年間の計画たて
- 6月 販売企画
- 7月 販売準備
- 8月 大台町試験地訪問
- 9月 まちづくりカレッジin伊勢での販売
西南学院大学との交流会
- 10月 販売準備
- 11月 倉陵祭での販売
三重ナルミ様での販売
- 2月 度会町の喜多製茶訪問
- 通月 河崎だいでこ市での和紅茶販売